

シラフルオフェン粉剤 MR. ジョーカー粉剤 DL	取扱メーカー： 石原、バイエル、北興 原体メーカー： バイエル
成分： シラフルオフェン……………0.50%	性状： 類白色粉末45 μ m以下，浮遊性指数20以下 毒性： 普通物 消防法： —

【品目特性】……………

- 水稻の主要害虫に高い防除効果を示す。
- 各種カメムシに対し優れた殺虫効果を示すとともに，吸汁阻害効果も確認されているので斑点米発生防止に有効である。
- 水稲中・後期の主要害虫であるカメムシ・ウンカ・ヨコバイ・コブノメイガに有効で残効性にも優れているので，同時防除が可能である。
- 従来の殺虫剤に抵抗性を示す害虫にも有効である。
- 基本的には若齢幼虫により高い効果を示すが，実用薬量では中・老齢幼虫にも有効である。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】……………

- 水稻の主要害虫をまとめて防除できる。
- 〈カメムシ類対象に使用する場合〉
- カメムシの発生状況に合わせて散布する。
 - ウンカ類・ヨコバイに対しては，いずれの生育ステージにも有効なので，カメムシの散布適期に合わせて散布した場合でも高い効果がある。
 - アカヒゲホソミドリカスミカメに対しては遅効的だが，吸汁阻害により優れた効果を示す。

〈イナゴ対象に使用する場合〉

- イナゴに対し，老齢幼虫・成虫にも優れた効果がある。

〈ウンカ類・ヨコバイとコブノメイガ同時防除で使用する場合〉

- コブノメイガの散布適期（発蛾最盛期の約1週間後）に合わせて散布する。
- ウンカ類・ヨコバイに対しては，いずれの生育ステージにも有効なので，コブノメイガの散布適期に合わせて散布した場合でも高い効果がある。

【安全対策上の注意】……………

- 蚕に対して影響があるので，周辺の桑葉にはかからないようにする。
- 共通注意事項7．ミツバチに対する注意事項を参照。
- 甲殻類に影響を及ぼすおそれがあるので，使用時は注意。



【適用と使用法】

作物名	適用場所	適用害虫名	10 a 当り 使用量	使用時期 (収穫前)	本剤及びシラフルオフェン を含む農薬の総使用回数	使用方法
稲	――	ウンカ類 ツマグロヨコバイ イナゴ類 カメムシ類 コブノメイガ	3 ～ 4 kg	7 日前 まで	2 回以内	散布
		イネドロオイムシ イネミズゾウムシ成虫 フタオビコヤガ	3 kg			
		イネツトムシ イネアザミウマ	4 kg			
		カメムシ類			3 回以内	
		ナカジロシタバ				
		だ い ず				
え だ ま め						
か ん し ょ						
水田作物, 畑作物 (休耕田)	ヨシ、オギ, ススキ、セイ タカアワダ チソウ等の 多年生雑草 が優占して いる休耕田	カメムシ類	3 ～ 4 kg	――	2 回以内	